

のにクロロフィルaは少なく、溶存酸素は、2.3と最低であった。絶滅危急種のガガブタは、33個の池の内1箇所でしか生息が確認されなかった。丘陵の縁のヒシの優占しそうな場所ではあったが、底質が粘土質であるという点で特徴的な池に認められた。

d : 浮漂性のウキクサの仲間は、海岸に近い富栄養的な環境の池に生息する傾向があった。

e : 九十九里平野南部の底質が砂質である地域にヒシ以外の大型水生植物が優占する比較的水草の豊富な池沼が局在している。また、そのいくつかは公園計画の一部に加えられているものもあるが、保全の手が施されることを希望したい。長生村尼ヶ台、茂原市坊谷堰、大網白里町細草、一宮町細田、光町乾草沼、等の水生植物相は、この地域のなかでは貴重であると思われた。

謝 辞

本研究にあたり、御助言いただきました千葉大学の生嶋功先生、ならびに種の同定を一部お願いしました神戸大学の角野康郎先生に厚く御礼申し上げます。また、千葉県総合教育センター科学技術教育部においては標本作成、水質分析などでお世話になりました。指導主事の嶋貝太郎、小沢誠両先生、他のみなさんに感謝の意を表します。

参考文献

- 浜島繁隆. 1979. 池沼植物の生態と観察. ニューサイエンス社, 東京.
- 橋本卓三. 1987. 西条盆地(東広島市)のいくつかのため池の水質と植生. ため池の自然. 6: 9-10
- 生嶋 功. 1975. 生物指標としての水草. 環境と生物指標 2—水界編. 日本生態学会編 共立出版, 東京. 90-96.
- 角野康郎. 1982. 水生植物の分布とpH, アルカリ度, カルシウムイオン, 塩素イオン, 電気伝導度の関係について. 日本生態学会誌 32: 39-44.
- 国井秀伸. 1986. 島根県松江市内辺の水草相(要旨). 水草研究会報 25: 13-15.
- 大滝末男. 1975. 千葉県の水草の生活. 千葉県の生物, 日本生物教育会 30回全国大会編集部pp. 55-60
- 大滝末男・石戸 忠. 1980. 日本水生植物図鑑. 北隆館.
- 下田路子・橋本卓三. 1993. ため池の水草の分布と水質. 水草研究会報 49: 12-15.
- Stephen T. Jackson and Donald F. Charles. 1988. Aquatic macrophytes in Adirondack (New York) lakes: patterns of species composition in relation to environment. CAN. J. BOT. 66: 1449-1460.
- 柳井晴男・岩坪秀一. 1976. 複雑さに挑む科学(多変量解析入門). 講談社, 東京.

○岡田 博・植田邦彦・角野康郎編著『植物の自然史—多様性の進化学』(北大図書刊行会、1994年1月、263p、3,090円)

最近の植物分類学の新展開の一端を、さまざまな研究手法で取り組む17名の研究者が解説したものである。「進化の現場を探る」、「植物たちの生き方と進化」、「種と進化」、「進化の道筋をたどる」、「進化の現場を救うために」の5部構成となっている。やや内容が堅くむずかしい章もあるので、はじめから読み通そうとせず、興味のもてる部分から読まれるとよい。「種の絶滅と保全生物学」の章が、水草に関連する部分である。

○「山門湿原の自然 次代に引き継ぎたいこの自然」(山門湿原研究グループ編集・発行、1992年3月、62p)
滋賀県北部の山中にある山門湿原は、小規模ながら多数の北方系の昆虫などが生息する貴重な湿原である。関西地方にあってミツガシワが広い面積にわたって群生することもその遺存的性格を示している。その湿原の環境と生物について、さまざまな専門分野の研究者が協力してまとめられた報告書がこれである。植物については、植物地理的にそのフローラを解析した上で、注目すべき種について解説している。植物目録と植生調査の結果が付されている。(角野康郎)